

睡眠姦娘

Vol.2「ナタリア」



この作品はフィクションであり、
実在する人物、地名、団体とは
一切関係ありません。

洋介の母はクラブを
経営している。そのせいで
ホステスが家に
住み込んだりするの
がよくあることだった。

洋介は幼い頃は年の離れた
ホステスを遊び相手とし
か見ていなかったが――

精通を迎えてからは
ホステスを女として見る
ようになった。

ザッポユツ

そんな折
三四歳のホステス・智代が
住み込むことに――

洋介は智代に睡眠薬入り
のお茶を飲ませて、彼女を
前後不覚に陥らせることに
成功する。

洋介は合鍵を使って
智代の部屋に侵入し
熟れた体にイタズラを
繰り返した。

イタズラは
エスカレートし
やがては膣内射精まで
行うようになった。

程なくして
智代は妊娠し
当時付き合っていた
男性Aと婚約し
お店を辞めたのだった。

ナタリア・リゼスカヤ
(通称ナタリー)

28歳

身長 177cm

B 110cm W ?cm H 111cm



ある日の放課後――

キーコン
カーコン

家に帰ると
見慣れない靴があった。

まるで置物のようにデカイ。

誰だろう。

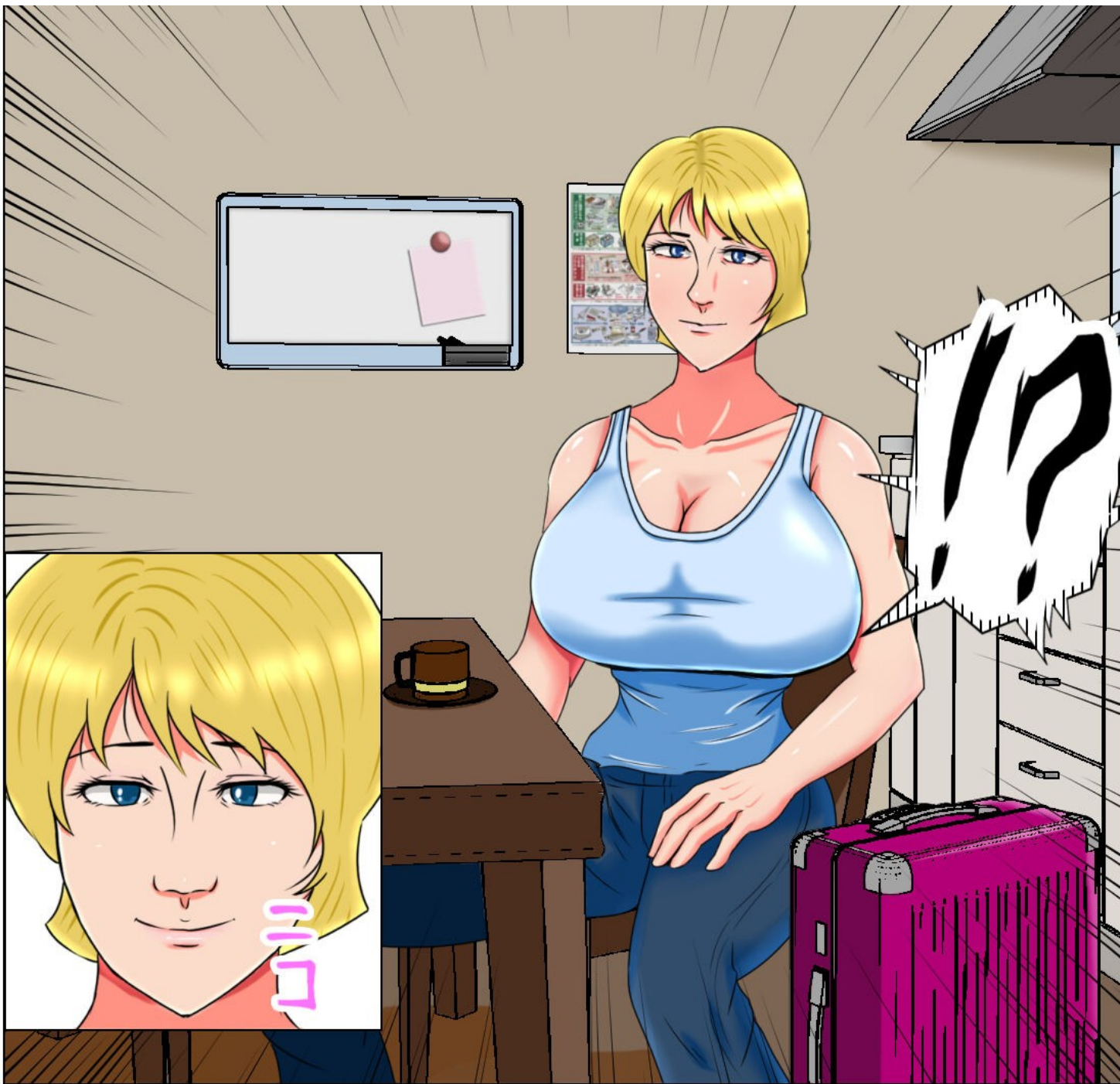
和田●●子でも来たのか？

あら、おかえり。

ただいま。

お客さん？

うん、ちょうど良かった。
こっちに来て挨拶しなさい。





住み込むことになったナタリアよ。

お店には一昨日から出てもらってるの。難しい日本語は分らないし色々教えてあげて。



う、うん。

よ、よろしく。



よろしくネ。

ニコ



洋介、ナタリアを部屋に案内してあげて。

洋介の母はクラブを経営している。
ホステスが家に住み込むのはよくあることだった。
だが、外国人で、しかも白人なのは初めてだった。

ナタリアは洋介がたじろいでしまうほど大柄だった。

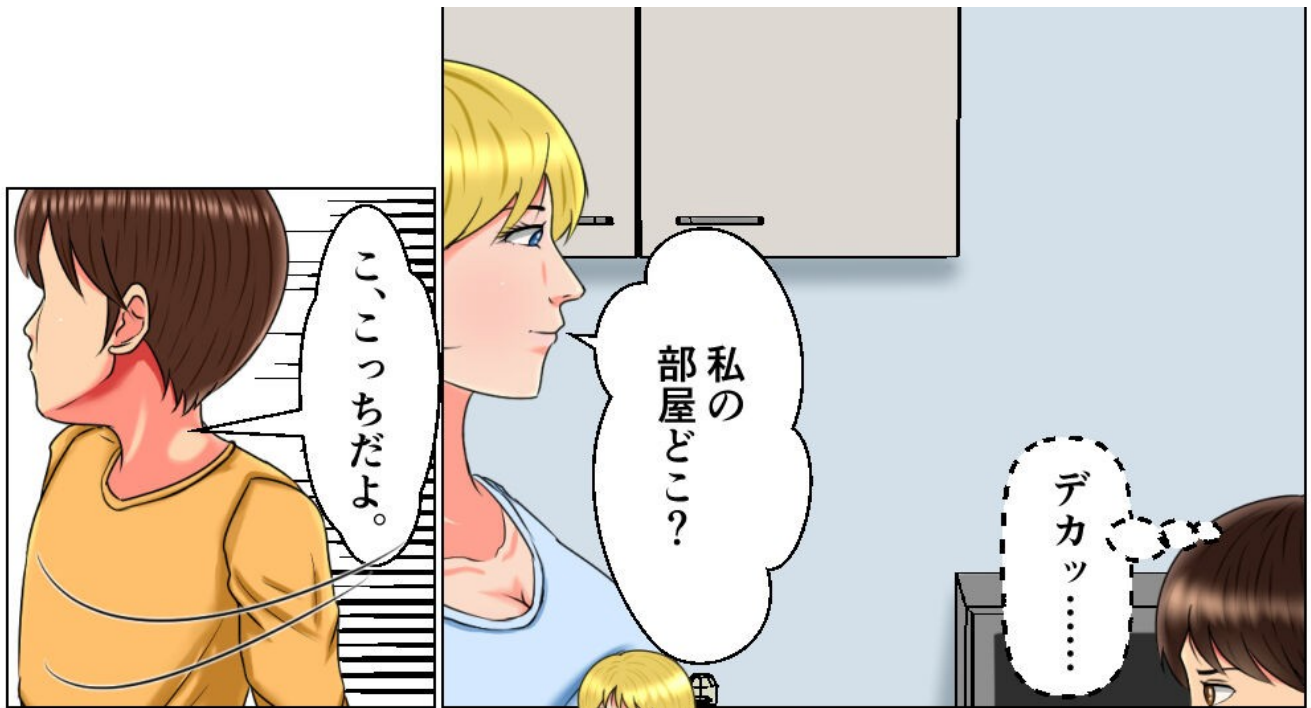
どっしり

胸は、スイカでも入ってるんじゃないかと勘ぐりたくなるほどの盛り上がり。

いぢッ

ヒップラインは横に大きく広がってまるで小山のようだ。

デーン



智代はたまに遊びに来るが、お腹が少し大きい。妊娠しているのだ。

誰しもが父親は婚約者だろうと思っている。実際は違う。父親は洋介なのである。洋介は智代に睡眠薬を飲ませて昏睡状態にさせ、膣内に射精を繰り返した。妊娠はその結果なのだった――



そりゃあそうだろうよ
その身体のデカさじゃ。



少し狭いネ。

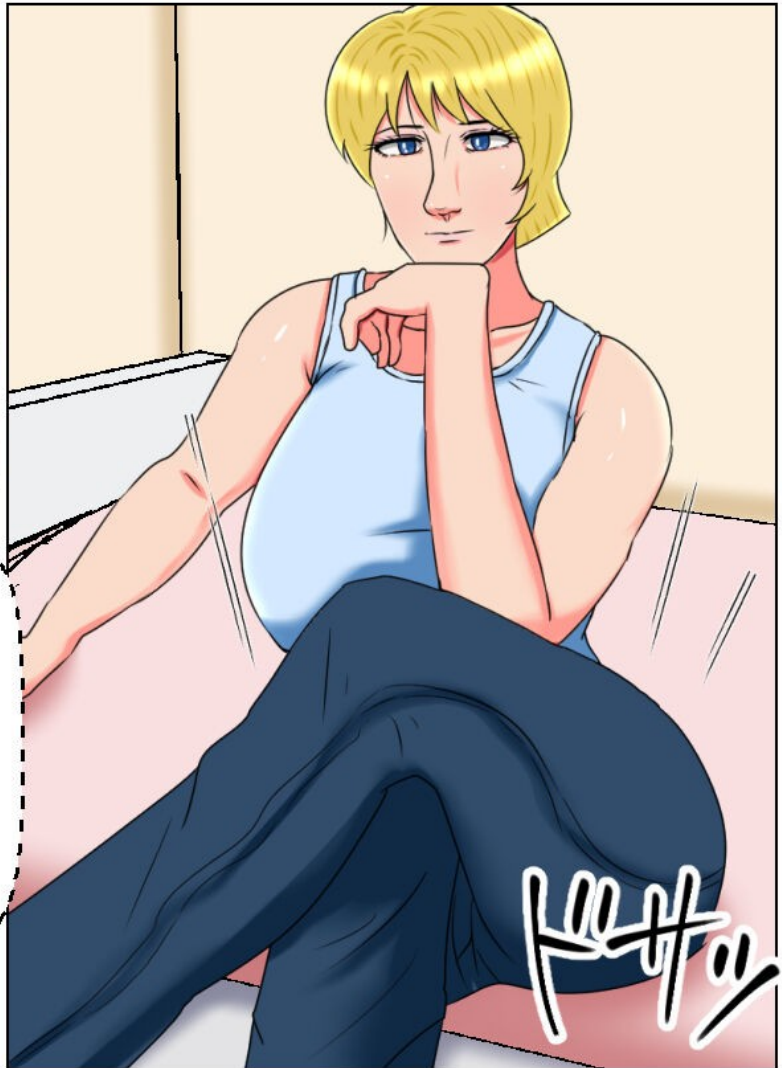
ぽよよん



ニコッ



なぜ見つめる……。



ドサッ





宿題があるから
自分の部屋に戻るよ。

洋介は返事もまたずに
部屋を後にした。

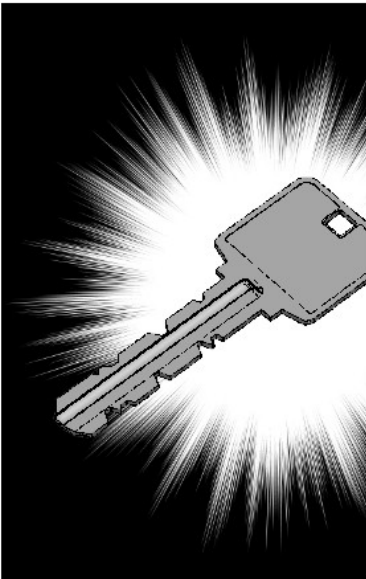


なんなんだ
あのデカ女は……

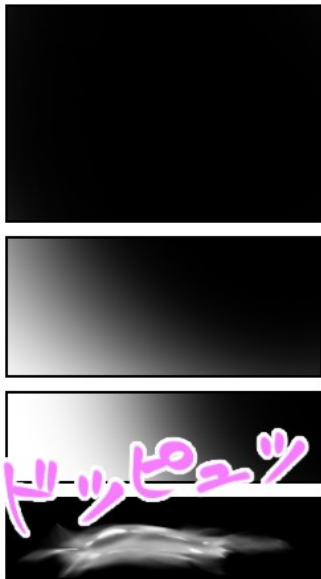


腹立つけど
あのおチチは
すごいな……

合い鍵は持ってるし
いずれあの白人デカ女に
睡眠導入剤を飲ませ
イタズラしてやろう。



やべ、勃ってきた。
一発抜くか……



翌週の初め。

夕方、ナタリアが出勤したあと洋介は彼女の部屋に忍び込んだ。

鍵はかかっていたいなかった。

鍵ぐらい
かけろよ……

カキヤ

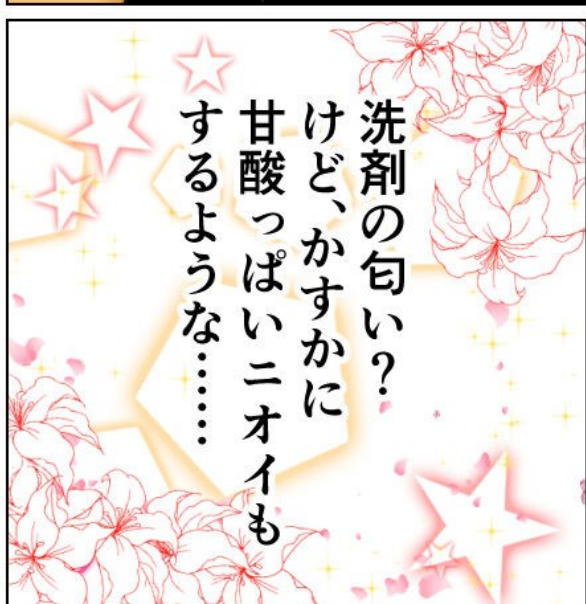
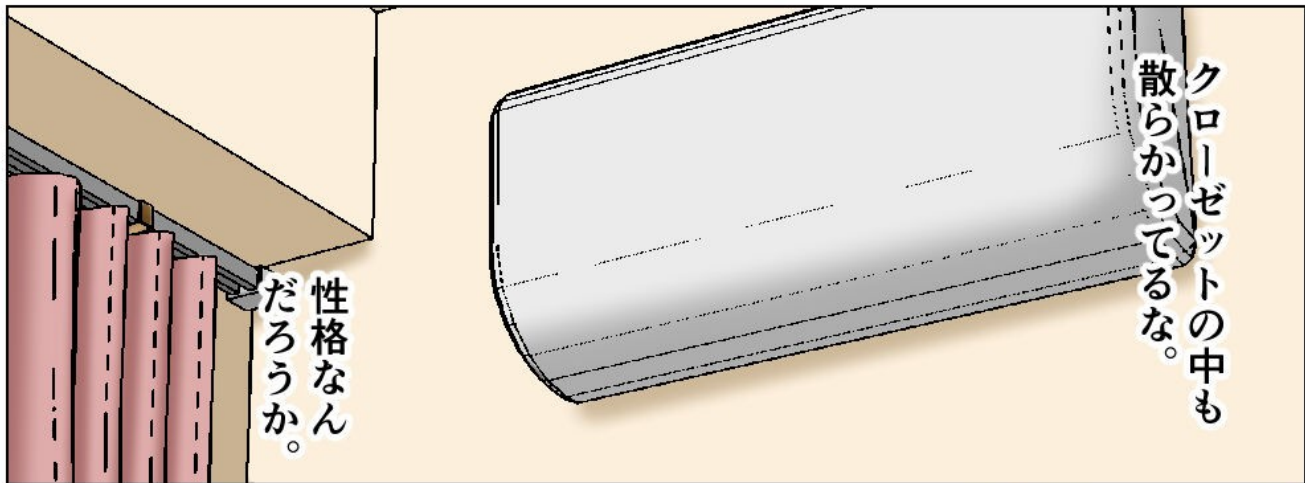
いつものことだけど
最初は緊張する……

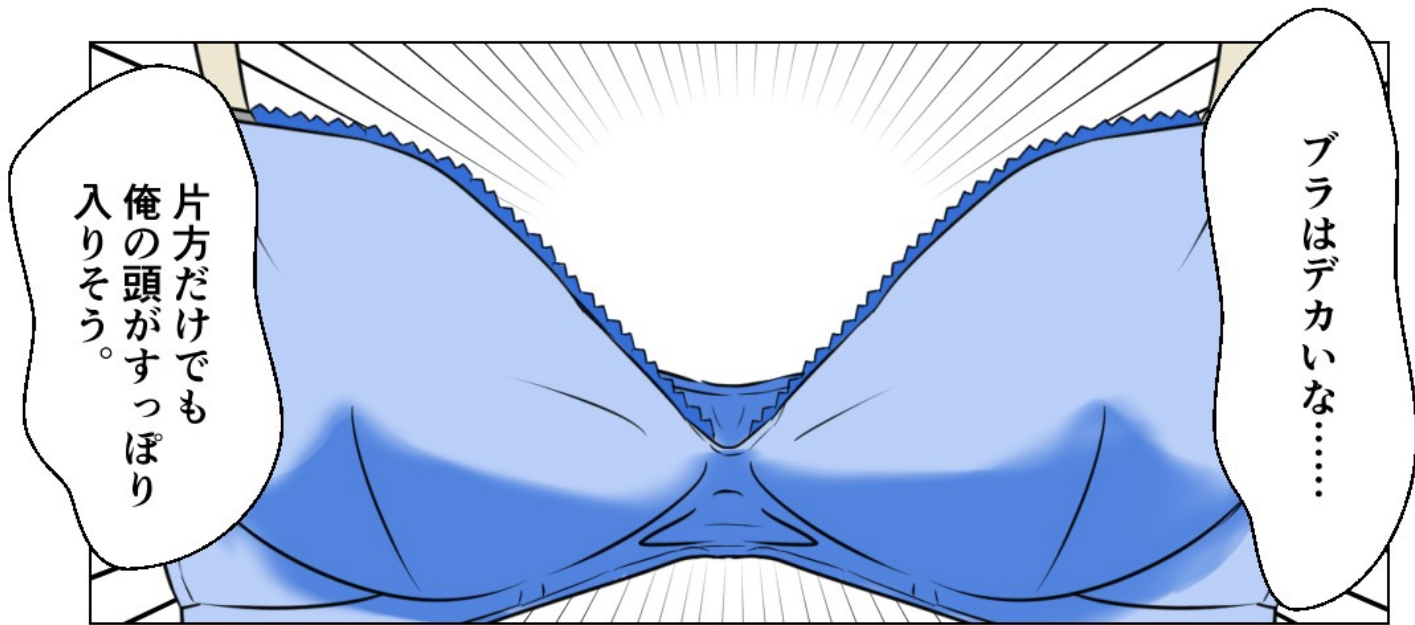
ナタリアの体臭と
化粧品と
香水の混じり合った匂い……

散らかってる……

智代の時とは
大違いだ……

おパンツか
ブラを探そう。





ブラはデカいな……

片方だけでも
俺の頭がすっぽり
入りそう。



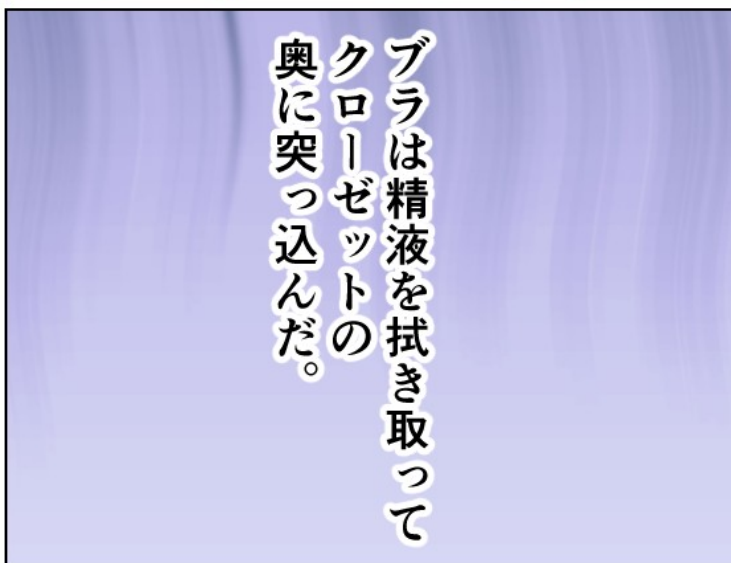
おパンツの匂いを嗅ぎながら、
巨大なブラの
中に射精した。



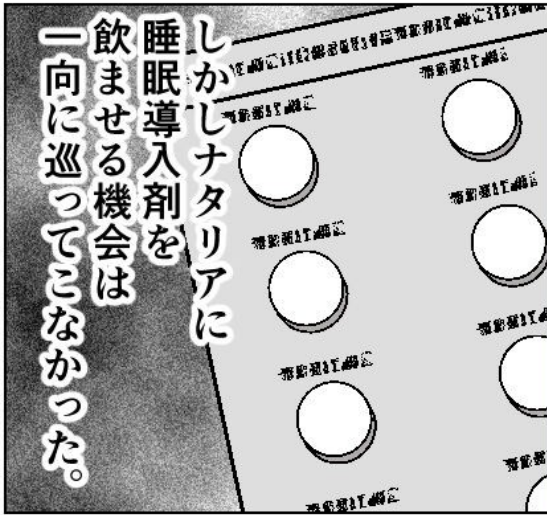
帽子か！



ナタリアはがさつだから
バレないだろう。
バレても白を切れば証拠は
ないんだから大丈夫……



ブラは精液を拭き取って
クローゼットの
奥に突っ込んだ。



いずれは本物の
デカパイに精液を
引っかけたいね。



洋介が、酒は嫌いなのか
と尋ねると――

ただいまー

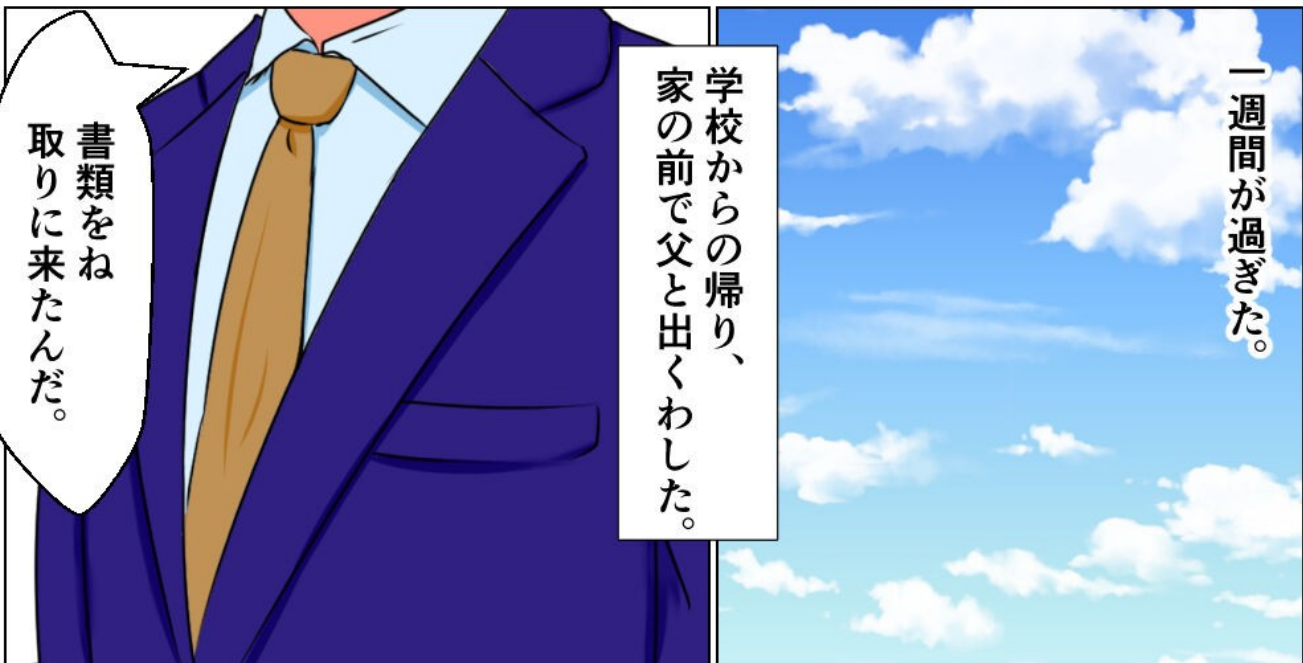
ナタリアが
酔って帰ってくることは
ほとんどないのである。





学校ではナタリアに
睡眠薬をどうやって
飲ませるか
そのことばかり
考えていた。

智代は酔って帰ってくる
ことが多かったから
お茶に睡眠薬を
混ぜるのは簡単だった。



一週間が過ぎた。

学校からの帰り、
家の前で父と出くわした。

書類をね
取りに来たんだ。



父親は別居状態で、
家には寄りつかない。
洋介が父と顔を合わせるのは
三、三ヶ月に一度ぐらいだ。

父は「母さんによろしくな」と言い残し
歩き去って行った。

家に入ると
ナタリアがいて、

おかえり。

ノーブラ…

ナタリアの
髪の毛は濡れていて、

少し息も弾んでいた。

はあ

はあ

なんか、変な感じ。

シャワーでも浴びた？

ナタリアは
昼寝をすると
居室に籠もった。

しん



ん？ ソファが
濡れてる……



もしや……
ナタリアは
父さんとセックスした？

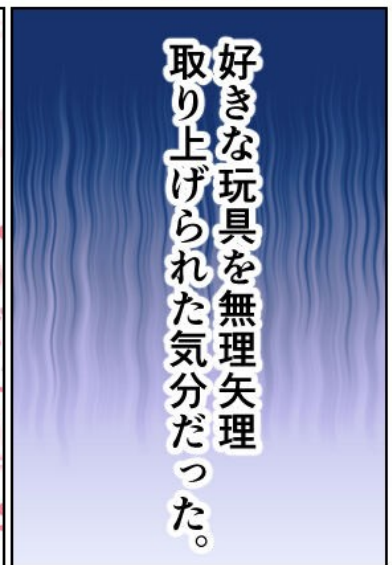
生温かいし……



ゴミ箱をあさると
使用済みのコンドームを
発見した。



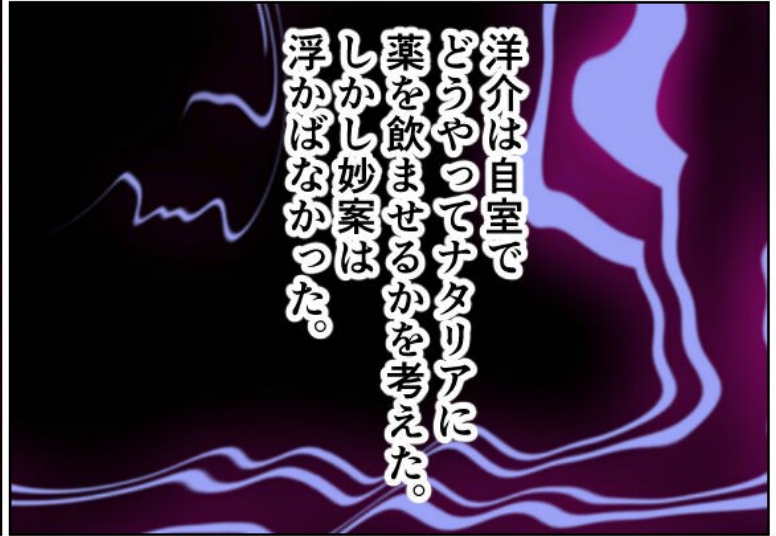
家で普通するか？
それにコンドームをゴミ箱に
捨てるって……
母さんにバレたら……



好きな玩具を無理矢理
取り上げられた気分だった。



夕方、
ナタリアは出勤した。



洋介は自室で
どうやってナタリアに
薬を飲ませるか考えた。
しかし妙案は
浮かばなかった。



観察中

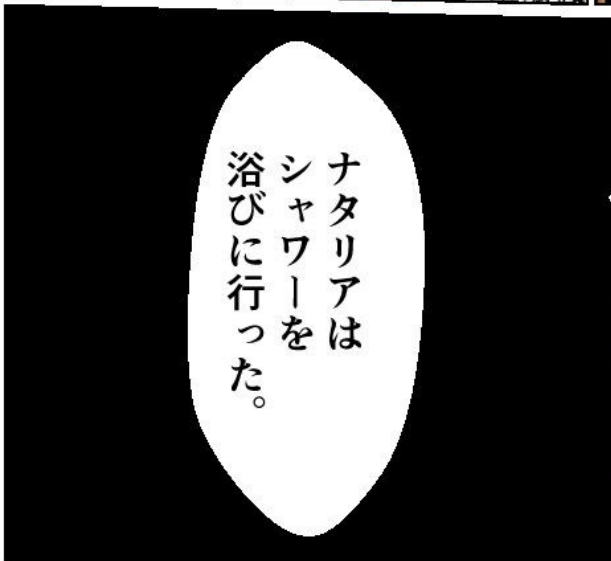
泥酔というわけではなく
ほろ酔い程度のようなだ。

……



その夜、ナタリアは
珍しく酒のニオイを漂わせて
帰ってきた。

ただいまー



ナタリアは
シャワーを
浴びに行った。



おみやげー

餃子！



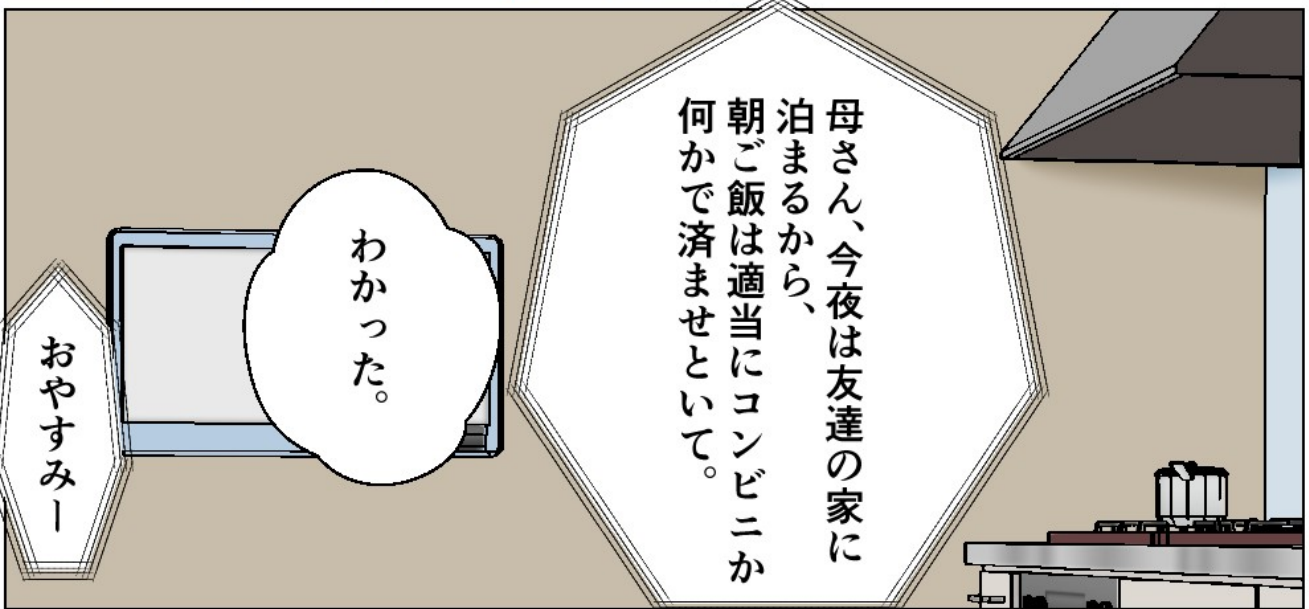
洋介？
母さん。

もしもし。

電話が鳴った。

ママ
090-1234-5678
着信中…
ぶるるる

拒否してメール送信



おやすみー

わかった。

母さん、今夜は友達の家
に泊まるから、
朝ご飯は適当にコンビニか
何かで済ませといて。

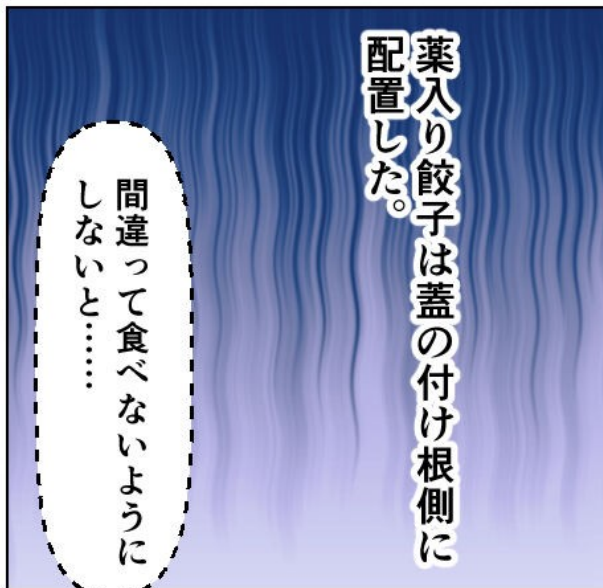


友達の家ねえ。
ま、いつものことだけど。

今夜は母さんは
帰ってこない……



餃子に睡眠導入剤を
混ぜてナタリアに
食べさせたら……？





ナタリアは寝る前は
僕の部屋でゲームを
するのが日課だ。
餃子も部屋に
持っていていこう。



餃子、食べない？



ギョーザ…



十分後。
ナタリアは洋介の部屋にやってきた。

ゲーム
しに来たヨ。

久しぶりに
お酒、飲んだネ。

よし！
薬入りの餃子を
食べたぞ！



ど、どう？
美味しい？



オーケー。







うん……



は、早く寝たら？



ふらふら
するネ……

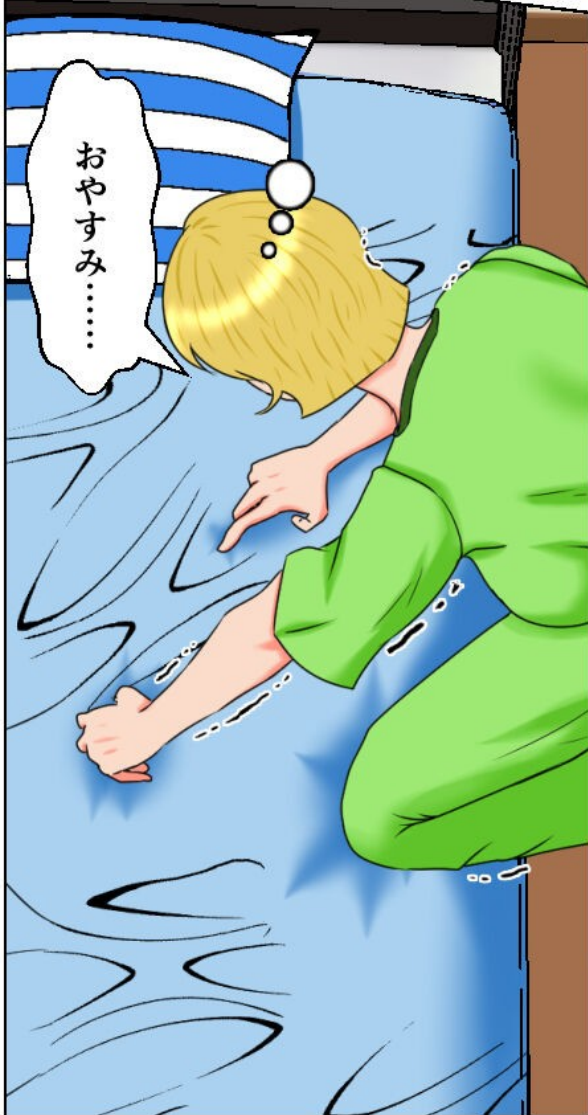
ふらふら



よろっ



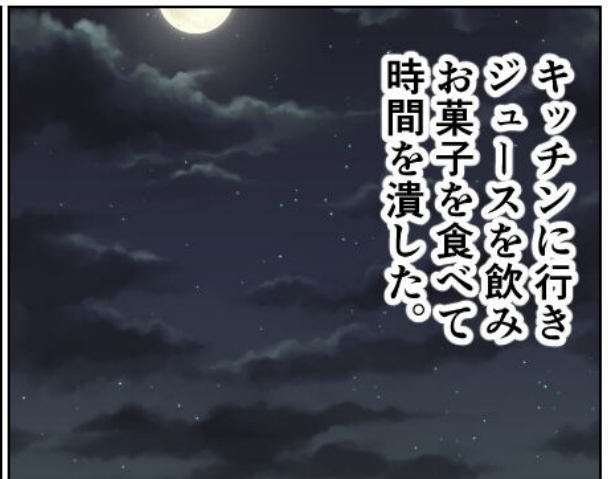
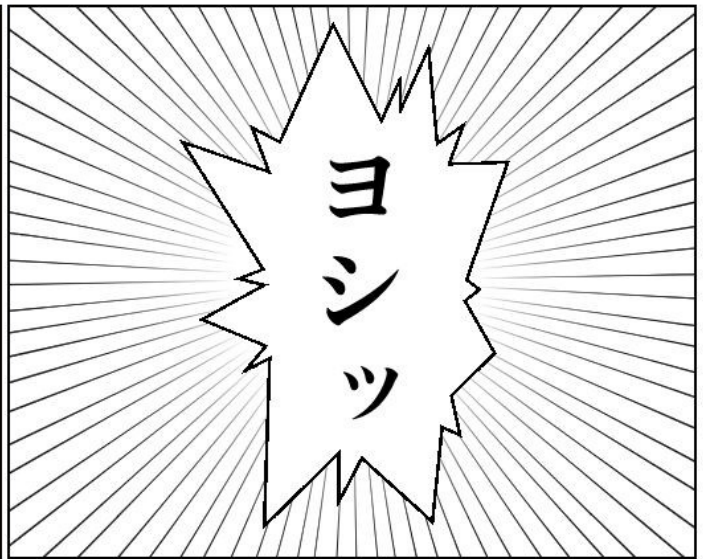
ベッド……
あるネ。



おやすみ……



わたしはここで寝る。
洋介は
わたしのベッドで寝る……



ナタリアは仰向けになって
寝ていた。

zzz...

ドキドキする……



改めてみると
やっぱりナタリアのおチチは
デカイ……



ケツもデケー……



まずは薬の効き具合を、
確かめるか。

ナタリア。

起床だ、ナタリア。

起きてよ、
ナタリア。

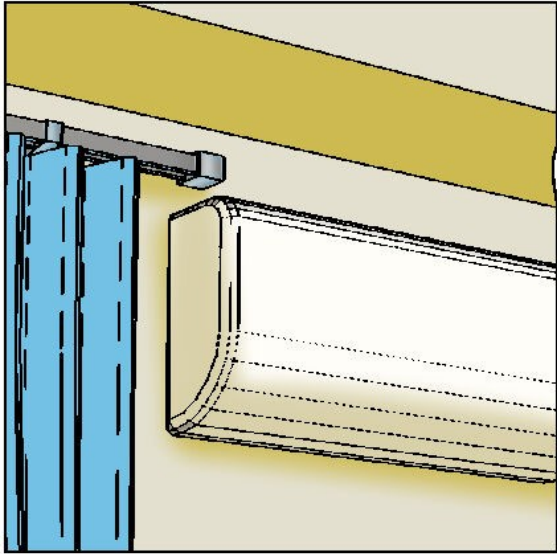
ZZZZZZ

目を覚ます気配なし！

効いてる効いてる。

ニヤ

やべ
痛いぐらいに
起って来た……



まずはデカパイを
見てやるか。



まるでケツのような
おチチだな(笑)

というかナタリアは寝るときに
ブラをするんだな……



ブラを
脱がそう……

すごく……
大きいです……

ぽろん……

いちゃ

ぽろん





どんな味かな……

ぽよん

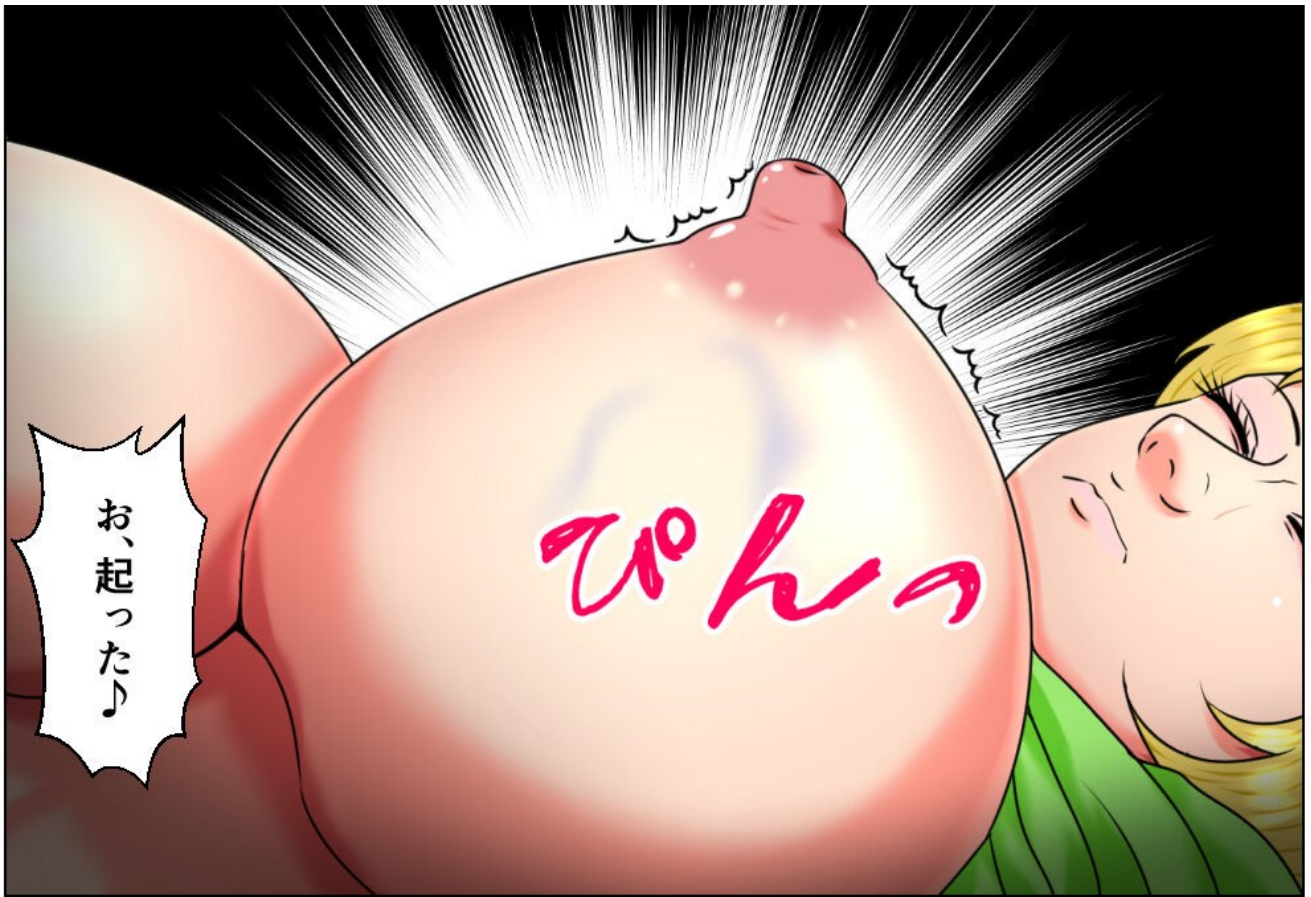


味は……しない。

あえて言うなら塩味……薄塩だ。
智代のオッパイと同じだね。

れろれろ





お、起った♪

ぴんっ



ちゅぽちゅぽ



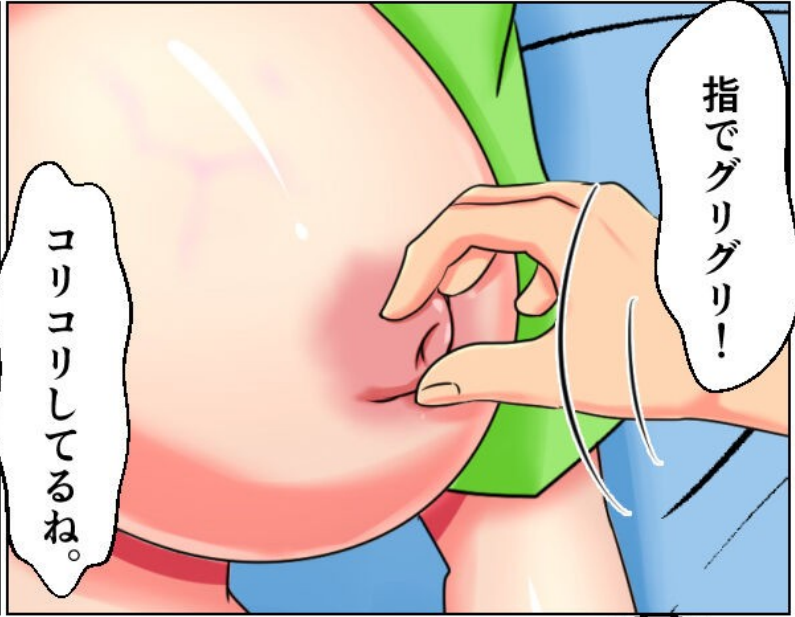
まあ考えても
仕方がないか……



父さんも
こうやってナタリアの
おチチを舐めて
たりして……



うーん



コリコリしてるね。

指でグリグリ!



やりすぎかな……
ここで目を覚まされると
かなりやばい……

ナタリアは元々アルコールに
弱いし……
睡眠薬を通常より多めに
飲ませてるんだ。
目覚めるわけがない……

どきどき



ふう
大丈夫だ……



ぶるぶる……

そろそろ下に行くか。

太もも、デカいな！
馬の首並か？

どんり

射精は膣の中でしたい。

智代の時は
どうしたっけ？
智代を横に
して……
自分も
横向きに……

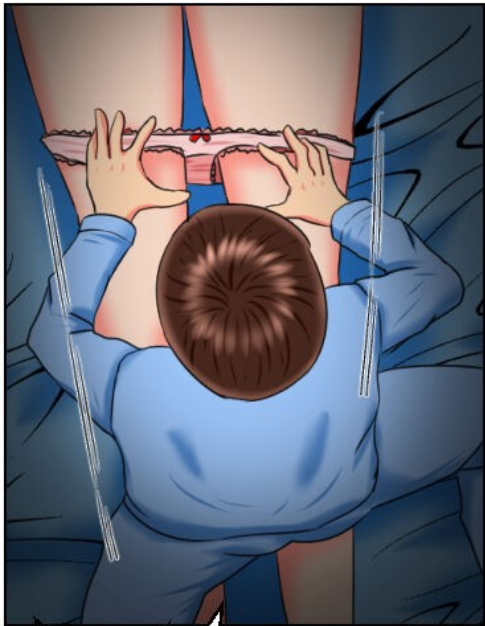
ナタリーの体を
横にするのは
大変……

今回は
お股を広げよう。

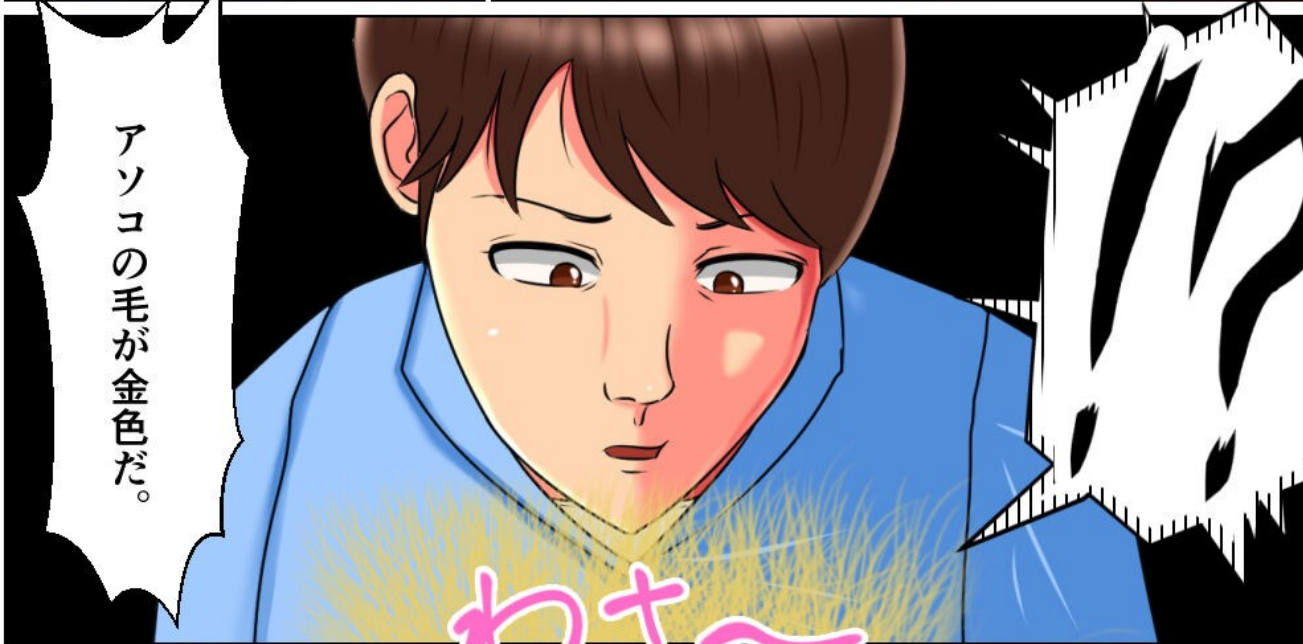
こちらのほうが楽だ。

ぐい





先におパンツを
脱がせなきゃ……



アソコの毛が金色だ。

わさ〜

ナタリーのアソコの毛は
形が揃っていて……
すごく意外だ。
もしかしてこれは
カットして揃えてるのかな。



智代のアソコの毛は
こんなに揃っていなかった。



まずは
指を入れてみるか。



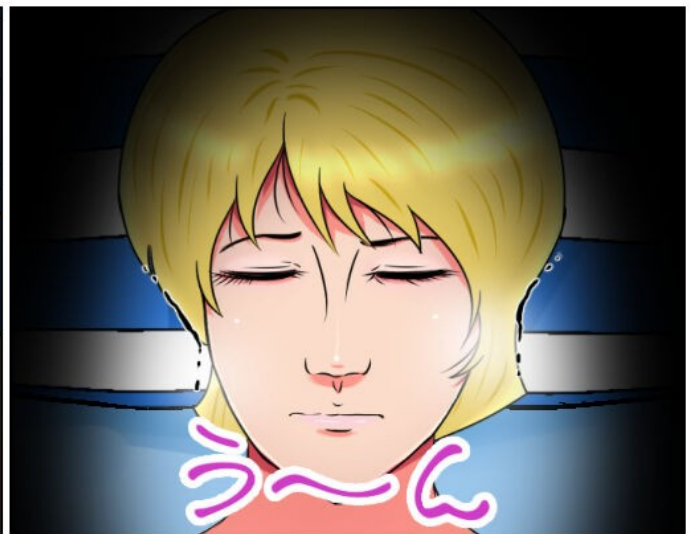
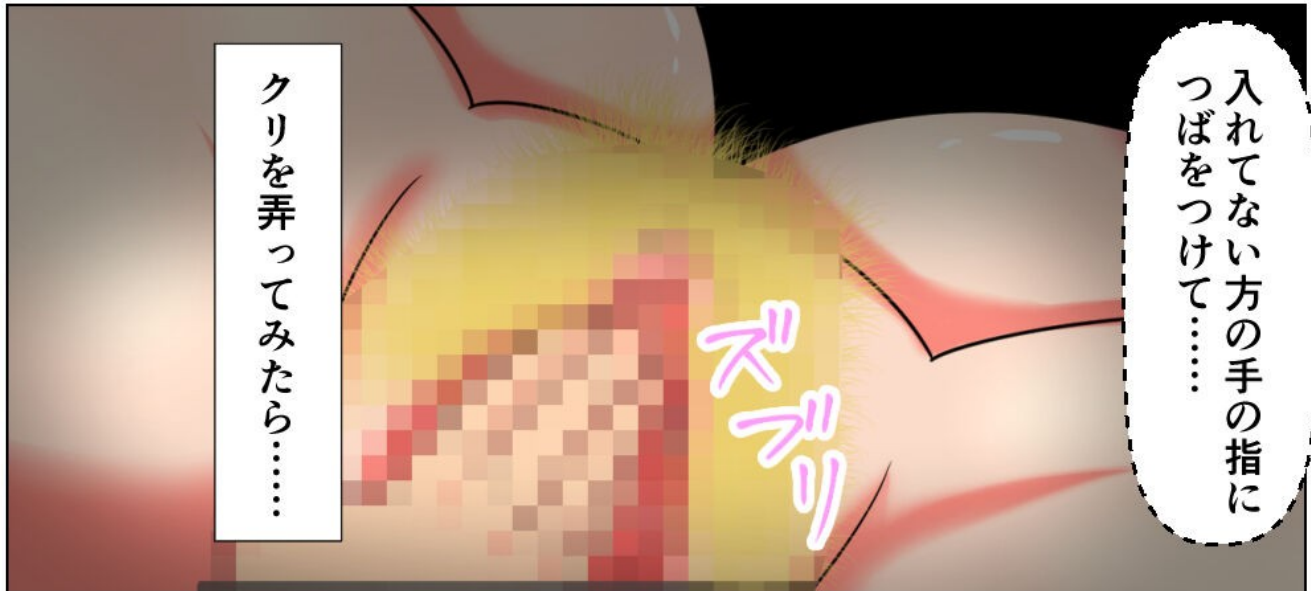
三本でも余裕...



二本ぐらいいは
易々入る...



四本、いや五本でも
入るんじゃないかね？





すごい
濡れてる……



押し出された……



……

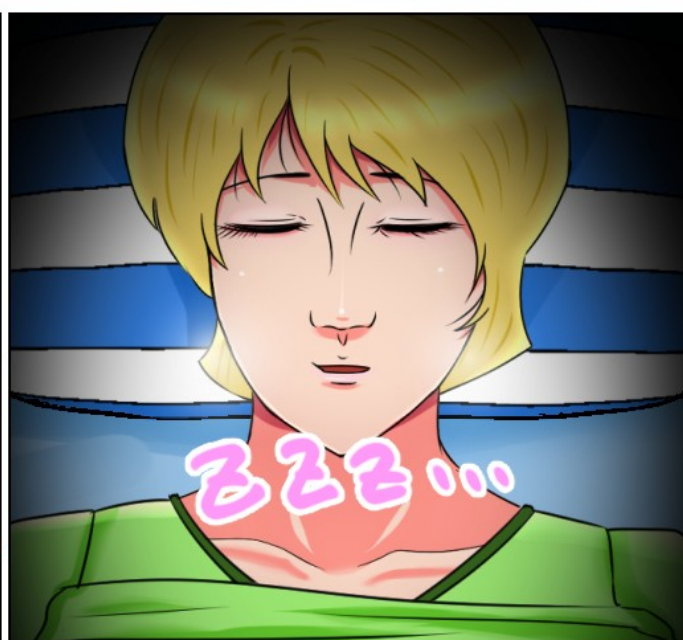
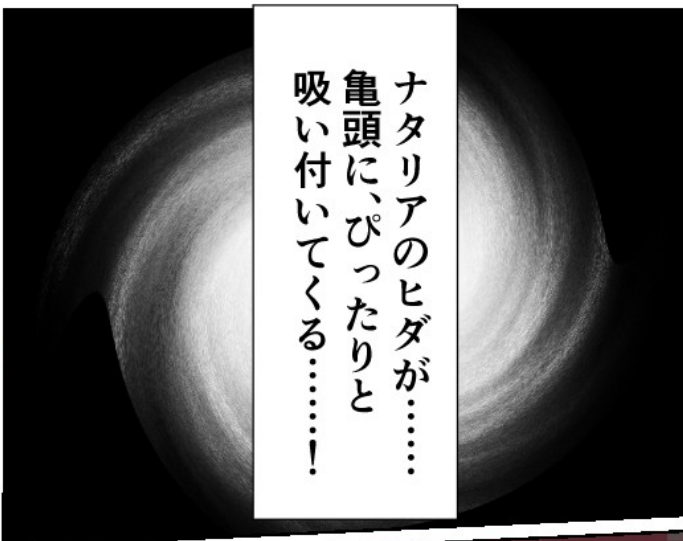
ぎんぎん



ここにおち○ポを入れて
クリちゃん弄ったら
どうなるんだろう……



い、挿れるよ、ナタリア。







uum.....

サイコー.....

どっぴゅっ

射精は、三分ほども続いた。

気持ちいい……

洋介は何度も腰を震わせた。
そのたびに精液がびゅっびゅっ
とナタリアの膣奥に向かって
放出された。

どくどく…

五分ほどして、ようやく洋介は
上体を起こした。

ふう……

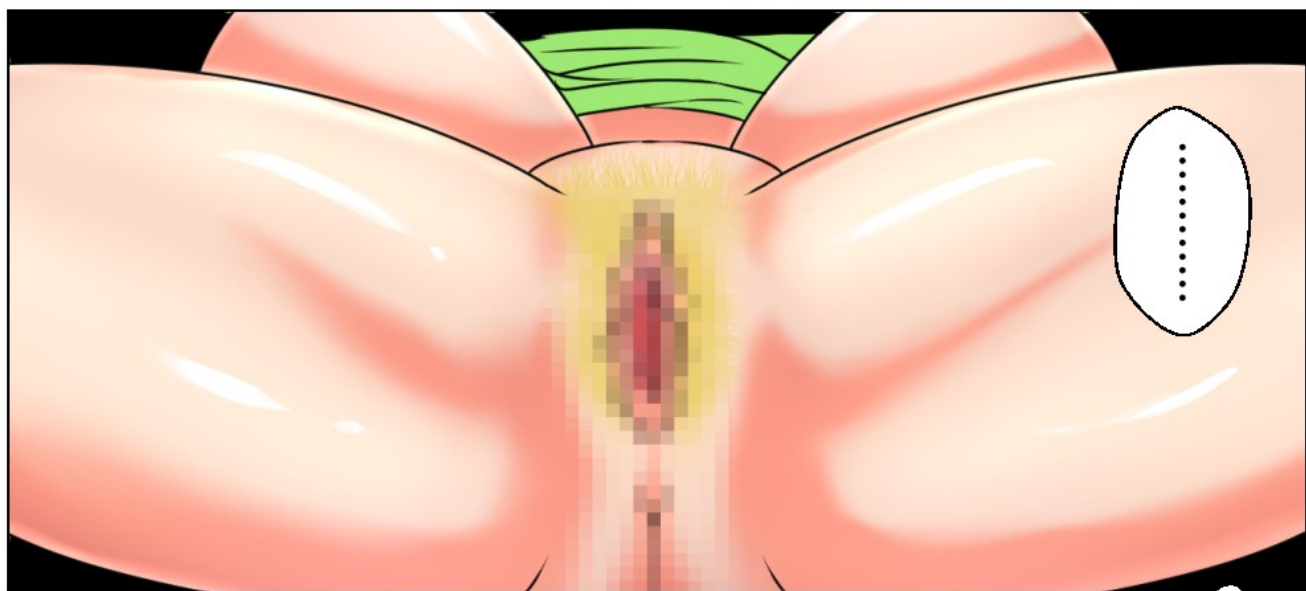


めっちゃ出た……

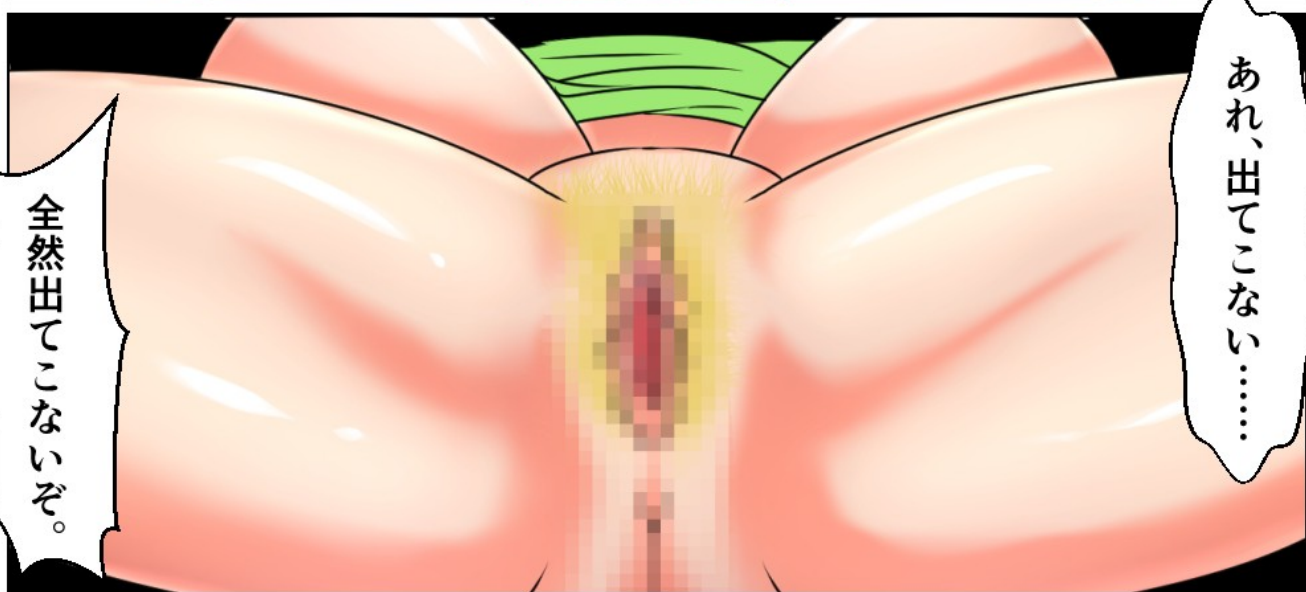
引き抜いたら
漏れるかも。

シートが
汚れるから……

手で半分ぐらい受けるか。



……



あれ、出てこない……

全然出てこないぞ。



眠いし。

ま、いっか。



精液が出てこない……



ナタリアの
部屋で寝よ……

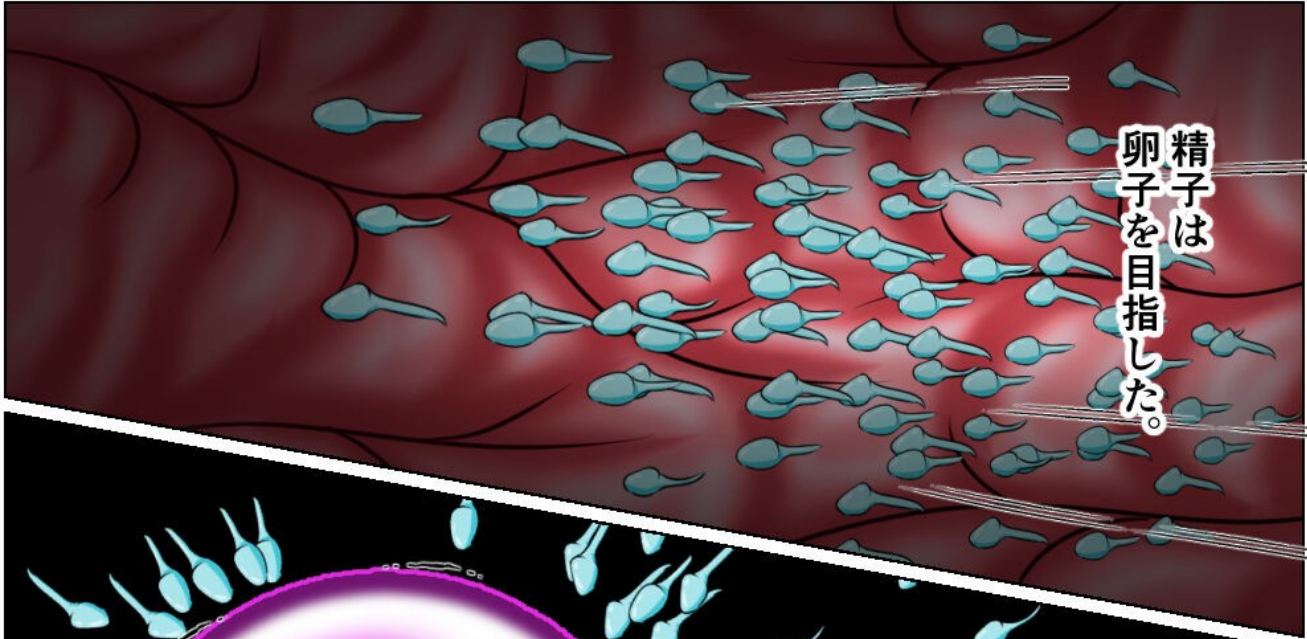


洋介はナタリアの服装を元に戻した。

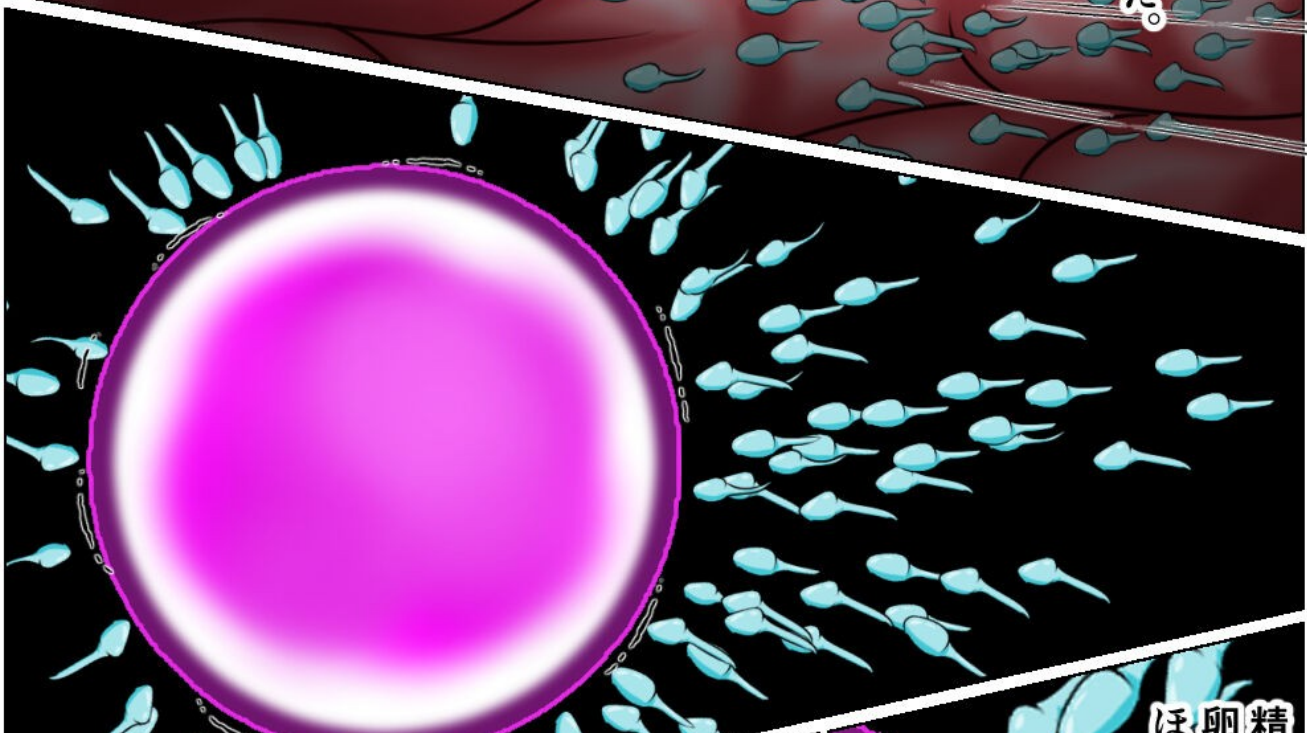
めんどくさ。




ナタリア、
おやすみ。



精子は
卵子を目指した。



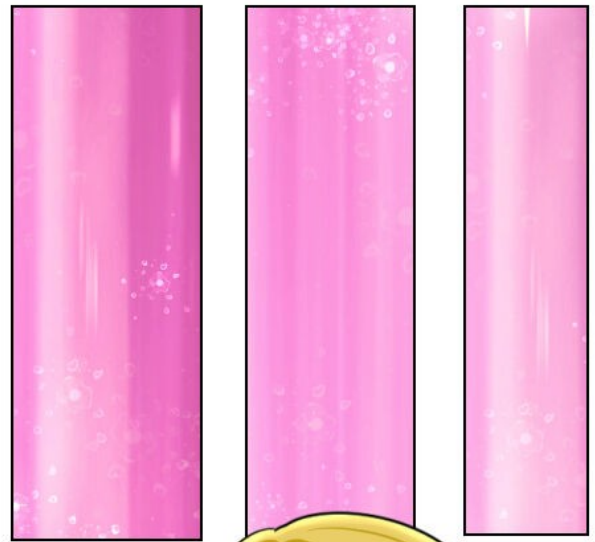
精子のひとつが
卵子の殻を破ると
ほかの精子は死滅した。



ナタリアは、それから一週間ほど
経ってから洋介の家を出て
ワンルームマンションに引っ越した。

洋介は知るよしもないが
洋介の父親の手配によるものだった。
ナタリアは、洋介の父と金銭による
愛人契約を結んだのだ。

およそ三ヶ月後の
日曜日の昼——
ナタリアが洋介の家に
遊びに来た。



お、おひさ。

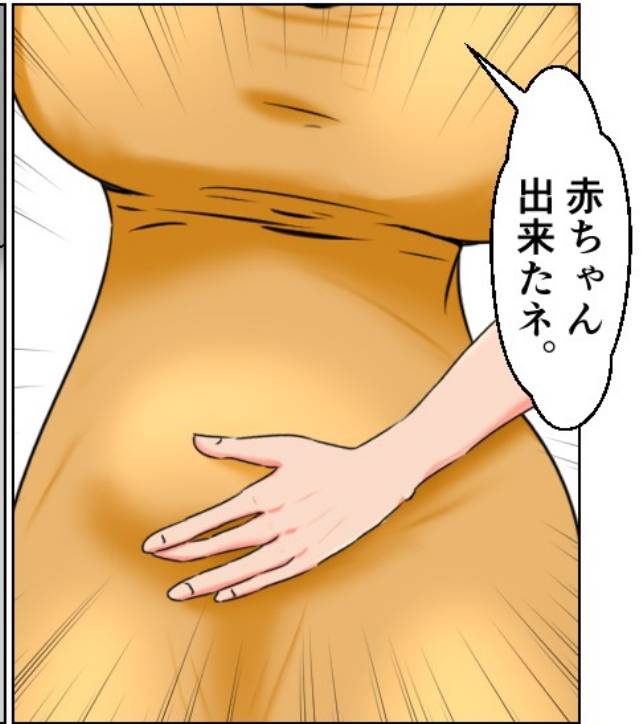
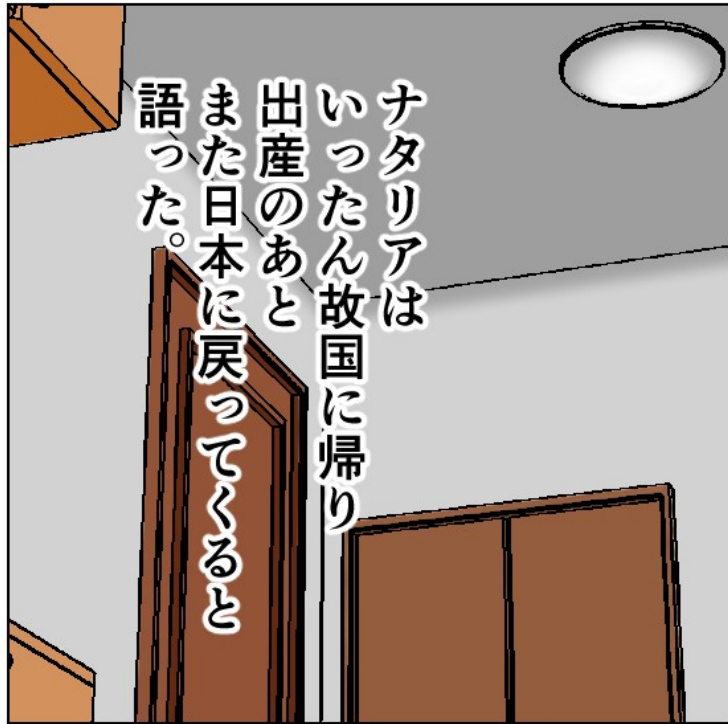


おひさ〜

ぽっこり♡



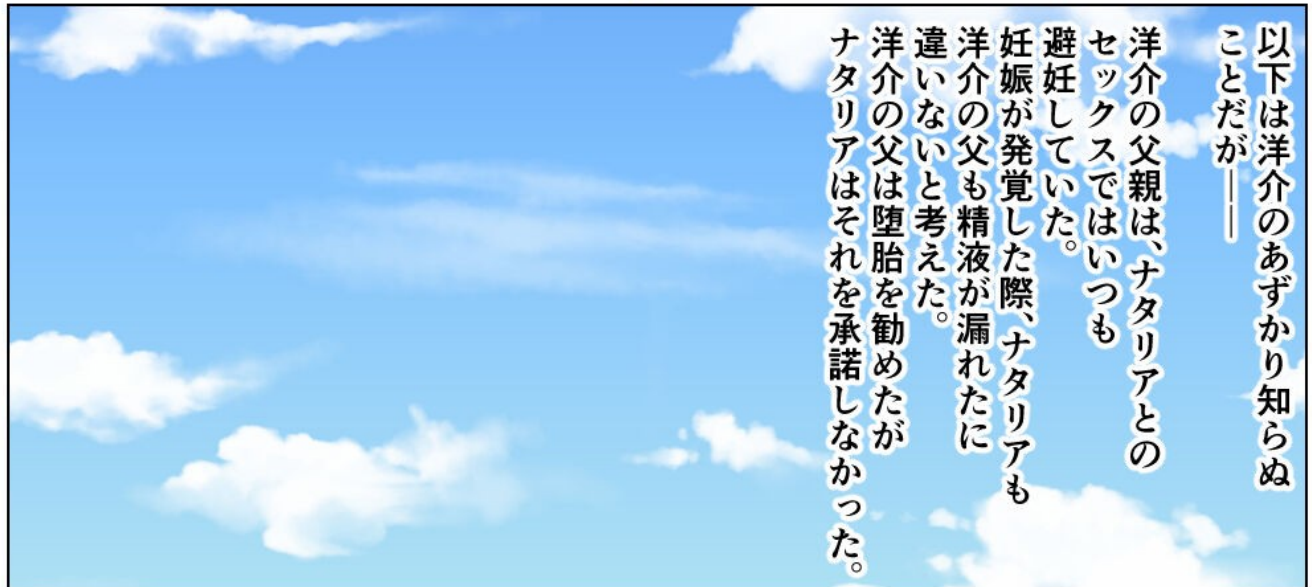
日本を 離れる
ことになったヨ。





洋介は、彼女の言葉を理解したが意味が分かってない素振りを通した。

ナタリアは赤子の父を僕のお父さんと思っ
ているようだけど……
本当にそうかな？



以下は洋介のあずかり知らぬことだが――

洋介の父親は、ナタリアとのセックスではいつも避妊していた。

妊娠が発覚した際、ナタリアも洋介の父も精液が漏れたに

違いないと考えた。

洋介の父は墮胎を勧めたがナタリアはそれを承諾しなかった。



くかー

洋介の父親は覚悟を決めた。赤子が成人するまでは養育費を払う条件を提示しナタリアは納得した。

当然ながら二人は、洋介がナタリアに膣内射精したことは知らない――

差分です。





to be continued

『睡眠姦妊娠』 Vol.2「ナタリア」

| | |
|-------------|-----------------|
| 2016年11月18日 | 配信開始 |
| 2018年3月19日 | 2版(作画と塗りの一部を修正) |
| 2018年12月25日 | 3版(作画と塗りを大幅に修正) |
| 2021年5月17日 | 4版 改題、全面改稿 |

制作：みんなの巨乳党(トリプルC)